

令和4年度事業報告書

令和4年 1月 1日から 令和4年 12月 31日まで

一般社団法人日本カーシェアリング協会

1. 重点事項

令和4年度のテーマ

“マイクロ イノベーション ～しっかり耳を傾けて、大きな喜びを生む小さな変化を重ねていこう～”

- ・「調査・分析・見直し」を標準装備
- ・拠点の設置と活性化(既存+新規支部1)
- ・必要な寄付車を確保できる体制づくり

2. 事業報告

成果

- ・活用車両台数……………300台（前年比 127% +64台）
- ・新規車両寄付受取台数……………143台（活用寄付 128台/リサイクル寄付 15台）(前年比 146% +61台/-16台)
- ・総貸出件数……………1,359件（前年比 173% +577件）

事業	受益者数	内訳
コミュニティ・サポート事業部	25地域（1,119名） ※前年比 105%+1地域 109%+89名	移動に課題のある地域・コミュニティ形成及び活性化等に貢献  ▷新規導入サポート…………… 5地域（169名） （内訳）設立…………… 2地域（115名） （内訳）テスト運行中…………… 3地域（54名） ▷既存導入地域サポート…………… 20地域（950名） （内訳）石巻市内…………… 9地域（461名） （内訳）石巻市外…………… 11地域（489名）
ソーシャル・カーサポート事業部	リース:延べ 150個人・団体 ※前年比 128% +33件  レンタカー:延べ 522件 ※前年比 116% +71件	生活困窮者支援、NPO・移住者支援、災害の備え、震災伝承などに貢献  ▷NPO・移住者・被災者支援等(ソーシャル・カーリース) …… 80件 ▷災害の備え構築(災害時返却カーリース) …… 48件 ▷生活困窮要支援者支援(生活お助けリース) …… 22件 ▷NPO・震災伝承・石巻地域振興支援 …… 522件 ▷うち語り部ナビ(震災伝承)利用 …… 7件
モビリティ・レジリエンス事業部	対応した自然災害 : 4件 ※前年比 133% +1件  貸出件数 : 690件 ※前年比 322% +476件  活用車両 : ピーク時 142台	令和4年3月福島県沖地震支援…………… 107件 令和4年7月豪雨支援(宮城)…………… 142件 令和4年8月豪雨支援(新潟・青森・秋田・山形) 155件 令和4年9月台風15号支援(静岡)…………… 286件

## ■コミュニティ・サポート事業

### 【目標1】オンライン化と積極連携（市外 CCS の効率的な普及体制を構築する）

- ・達成指標1) 新規導入 10 地域(石巻 2 地域)
- ・達成指標2) 石巻市外の事例紹介と導入プログラムの 8 割をオンライン化
- ・達成指標3) 連携での導入実績2件と説明資料作成

#### 評価

- ・達成指標1) 新規導入 5 地域(石巻市内 2 地域)※テスト運行中含 【達成:50%】
- ・達成指標2) 石巻市外の事例紹介と導入プログラムの 6 件/10 件オンライン化できた 【達成:75%】
  - ・事例紹介:4 件/7 件  
※丸森町・岩泉町・宮古市・香春町はオンライン対応、登米市・大崎市岩出山池月・姫路市は訪問で対応
  - ・導入プログラム:2 件/3 件、実績 7 割オンライン化  
※宮古・富士宮はオンライン中心プラン、登米は訪問中心対応
- ・達成指標3) 連携での導入実績3件実施 【達成:150%】 説明資料は作成できず 【未達成】

#### 実施内容

- ・新規導入 5 地域（設立2地域・テスト中3地域）石巻 2 地域）
- ・オンライン中心の CCS 導入プログラム(ライト)、事例紹介オンラインプランの設定
- ・CCS 解説動画と自治体・カーシェア会紹介動画の制作と発信
- ・連携での CCS 導入実績 3 件実施(富士宮市:コンサル、登米市:生活支援コーディネーター、宮古市:地域おこし協力隊)

#### 総評

- ・新規導入獲得のためのノウハウが整理できておらず導入件数を伸ばすことができなかった。
- ・連携での導入をすすめることができたが、案件がテスト運行中のため資料化まで至らなかった。一方制作した動画コンテンツの視聴回数やオンラインでの事例紹介の機会が増えてきたことと、生活支援コーディネーター等への発信ルートが開発できたため今後につながる 1 年となった。

#### 課題

- ・CCS 県外対応の人材確保が課題である

### 【目標2】運営管理システム「まきたろう」のプラットフォーム化（効率化とサービスの向上）

- ・達成指標1) まきたろう 8 割導入 ※現在4割
- ・達成指標2) まきたろうサポートセンター設置

#### 評価

- ・達成指標1) 導入 5 地域 【達成率:28%】
- ・達成指標2) 樋笠氏へ対応を委託しまきたろうサポートセンター設置できた 【達成:100%】

#### 実施内容

- ・まきたろうの無料お試しキャンペーン
- ・まきたろうのサービス充実（総会資料作成機能追加）
- ・遠隔でのまきたろうサポート体制の構築（導入研修・問い合わせ対応）
- ・まきたろう導入ツール制作（動画マニュアル制作・紹介動画制作）

#### 総評

体制は整ったが既存カーシェア会のまきたろう導入はすすまなかった。一方新規導入地域への PR やスタッフの市内カーシェア会の管理に非常に有効にまきたろうが活用できるようになった。

#### 課題

- ・既存カーシェア会への導入は難しいことが判明したため、新規導入に的を絞って今後は導入を進めていく。

### 【目標3】年間サポート体制の構築と生産性の向上（少数人員で成果拡大）

- ・達成指標1) 市内カーシェア会持続化進捗 60 以上のスコア達成、
- ・達成指標2) 年間スケジュールに基づいた運営体制構築

#### 評価

- ・達成指標1) 市内カーシェア会持続化進捗 72 項目達成【達成率:120%】
- ・達成指標2) 年間スケジュール作成し運用開始できた【達成:100%】

#### 実施内容

- ・市内カーシェア会の総会・助成金・会計管理への集中サポート
- ・訪問・来社管理ツールを活用したチャンスの管理と持続化 ACT[提案・レクチャー・フォロー]への集中
- ・研修 4 回実施 (8/31 役員研修・9/30 安全運転講習・10/21 石巻市内大交流会・12/6 オンライン交流会)
- ・年間スケジュール作成
- ・視察対応:10 件 (宮城県庁、姫路市議、東北活性化センター、岩泉町役場、奈良市、高島町議、宮古市田代地区、豊田市役所、登米市石越地区、岩泉町議)

#### 総 評

生産性が大きく向上し、前年度の半分の人数の人材で前年度以上の成果を得ることができた。

#### 課 題

市内カーシェア会内においては、役割分担が進み自立化が進む一方、地域内部での不満や人間関係の悪化などの問題が生じるようになった。ルールの調整や課題への対応が定期的に行えるようなサポートが今後必要であると考えている。

### 【その他にあった取り組み】

- (1)コミュニティ・カーシェアリング導入・運営サポート事業
  - ・CCS 運営サポート : 25 地域 (20 地域/新規 5 地域) ※2 地域(不動町・浪江町)解散
  - ・石巻市-JCSA 検討委員会の運営事務局 (3/22、9/29 開催)
    - ※2022 年 9 月～ 名称が石巻市と日本カーシェアリング協会の包括連携協定に基づく打合せに変更
  - ・CCS スポンサー制度の運営
- (2) 石巻市 SDGs モデル事業(グリーンスローモビリティの活用した協働による新たな移動手段の構築事業・AIロボットの活用による高齢者支援事業)
  - ・グリーンスローモビリティ既導入グループへの運営サポート 1 地域
  - ・コミュニケーションロボットの配布と活用支援

委 託	令和 3、4 年度地域課題サポート(コミュニティ・カーシェアリング)事業(石巻市)/令和 3、4 年度自治体 SDGs モデル事業グリーンスローモビリティ等運用支援業務(石巻市)/令和 3、4 年度自治体 SDGs モデル事業 AI ロボットの活用による高齢者支援業務(石巻市)
助 成 金	社会課題解決みやぎチャレンジプロジェクト(社会福祉法人宮城県中央共同募金会)
補 助 金	地域おこし協力隊(石巻市)/みやぎ地域復興支援助成金(宮城県)

※他、石巻市内のカーシェア会において地域互助活動推進事業助成金などを活用

### ■ソーシャル・カーサポート事業・損害保険代理店業務

#### 【目標 1】活動の元になる車が不足しない状況をつくる

- ・達成指標) リサイクル寄付 100 台、活用寄付 150 台

#### 評 価

- ・達成指標) 活用寄付件数 : 128 台受取【達成率:85%】 ※管理番号 597-725
- リサイクル寄付件数 : 15 台【達成率:15%】

#### 実施内容

- ・メディア掲載により周知を図る (600 台・リサイクル寄付・災害時の車の寄付募集)
- ・団体ホームページ内の車の寄付ページ改修と Web 広告の配信
- ・過去に車を寄付いただいた方へのアンケート、お礼のメッセージ
- ・車の寄付ユーザーのインタビュー動画撮影、公開
- ・車の寄付チラシのリニューアル、ポスター作成

- ・災害支援期間限定の車両貸与のテスト実施

#### 総 評

- ・年間寄付台数が 100 台を超え昨年度と比べて寄付台数を延ばすことができた。
- ・アンケートにより、支援者が求めていること、感じていることを把握することは非常に有用だった。
- ・目標件数には達さず、特にリサイクル寄付の展開は目標を大幅に下回ったことは反省点。
- ・リサイクル寄付については災害の多発により活用する車にまわしたことが要因ではあるが、少ない件数ながらもこの取組の重要性をご支援いただいた方、また関わるスタッフが理解できたことは非常によい結果だったと感じている。
- ・当初想定通り災害対応期(7 月以降)車の寄付に関する問い合わせ、寄付成約件数が増加したものの、目標達成に至らず。
- ・過去の車を寄付いただいた方へのアンケートを実施し、車の活用情報の定期的な共有など、今後実施していく方向性も見えてきた。
- ・12 月には google 広告を代理店に運用していただいたが大きな成果は得られず、展開の難しさも露呈。地道な活動や接点づくりが拡大のカギとなる。

#### 課 題

災害が発生しない時期、メディア露出が少ない時期に、車の寄付について PR する機会をどのようにしてつくっていくかが課題。リサイクル寄付 事業実施の必要車両数が充足しない限りリサイクル寄付を案内できる機会がとてま少なくなってしまうため、全体の問い合わせ件数を増やすための取組が必要。

### **【目標 2】 災害時返却カーリースが 150 件広がり、各地の大規模災害でも対応できる車を確保する**

- ・達成指標) 期末時点で 150 件の既契約がある状態を目指す

#### 評 価

- ・期末時の契約件数 : 6 件 【達成率:4%】

#### 実施内容

- ・災害支援団体、過去の利用者へのアンケート調査
- ・サービス内容のリニューアル、チラシリニューアル
- ・災害時の返却対応

#### 総 評

- ・災害発生時、返却を拒まれ被災地に運べないという事例は 1 件も発生せず、42 台の車を被災地に届けることができたことは、今後を見据えてもよい経験となった。
- ・期末(12 月末)時点で災害対応が現在進行形で進んでおり、新規の貸出を停止することとなり、期末時点での契約件数は低調なものとなった。
- ・一方で契約規定である 10 日以内の車の返却に難色を示す方もおり、契約前に利用頻度、用途、車の保有台数を十分に確認することが必要と感じ、受付フローを改善した。
- ・秋田で契約いただいた方がいたおかげで 8 月に秋田県内で発災した災害対応をすることができた。各地で車が活用されていることが災害への備えに繋がると実感した。

#### 課 題

- ・災害対応の長期化により再契約の意向があった方が離れてしまい再契約の件数が少なくなってしまった。

### **【目標 3】 生活お助けカーリースの全国展開を通じて、困窮者支援の本格化**

- ・達成指標) 15 地域 50 件貸出が行われ、自身で車を購入できる方が 10 件でてる

### 評価

- ・達成指標) 昨年度利用件数 : 35 件(新規貸出契約 18 件、満期日到来前契約 17 件)【達成率:70%】  
 地域数 : 23 地域【達成率:153%】  
 自身で車を手配できた方 : 11 名【達成率:110%】  
 問い合わせ件数 : 48 件(前年度 21 件)

### 実施内容

- ・支援策の周知と実行(宮城、佐賀を中心)
- ・生活困窮者と車の問題をテーマオンラインイベント実施(2 月)
- ・支援内容のブラッシュアップ(6 月)
- ・石巻市の困窮者支援団体連携会議を先導(12 月)

### 総評

- ・件数目標こそ届かなかったものの、着実に成果が出た 1 年となった。事業開始から 2 年が経ち、自身で車を購入できる方も増え、喜びの声も上がってきている。それぞれの事情はあれど、車があることで生活が安定することも多く、とりわけ新規就労に繋がる可能性が極めて高い。

### 課題

- ・丁寧なフォローをするようになり、それによる結果は出ているが、その分対応するスタッフの工数が増えている。今後件数が増加した際の対応について、人員体制を考慮したオペレーションの構築が必須となる。
- ・どれだけ時間をかけても状況が改善しない方、年齢などが理由で十分な収入が得られる職業への就職が難しい方など、この仕組みだけでは解決できないことも多く、他機関連携により適切なフォローができるような体制を各地域で作っていくことが重要と感じている。
- ・利用件数は目標に届かなかったものの、貸出実績が 23 地域に広がり、かつご自身で車を手配することができ、円満にお車をご返却いただいた方が 11 名となった。
- ・11 名の方は自分で車を手配できたこと、生活が安定したことへの嬉しさを伝えてくれた。また、伴走支援をした自立支援窓口の担当者、車を貸し出した協会への感謝への言葉も多く、この事業の社会的意義を感じる機会となった。
- ・昨年度末課題であった契約満期直前になっても状況の改善が全く見られない状況の改善を図るため、業務フローを見直し、3 カ月毎の定点ヒアリングや自立支援窓口との定期 MTG を設けたことにより、利用者の状況の把握が容易になったとともに、利用者とのコミュニケーションが増え、信頼関係の構築につながる事ができた。
- ・支援の周知策としてオンラインイベントを実施し、佐賀県を中心とした自立支援窓口への支援策の周知を行った。

-	売上	総契約件数	新規契約	解約件数
カーリース	19,391,992 円	144 件 ※1	71 件 ※2	68 件 ※3
-	売上	貸出件数	語り部ナビ利用件数	取材
レンタカー	8,833,200 円	522 件 (目標 640 件 81.5%)	7 件	1 件

※1 12/31 時点での契約件数 90 件

※3 解約件数のうち、災害時返却カーリースの解約 42 件

※2 ソーシャルプラン 21 件/災害時返却プラン 22 件/生活お助けプラン 18 件/災害被災者への支援プラン 10 件

### 【その他にあった取り組み】

- (1) Kintone による契約書発行、契約管理体制を構築し、業務効率化を推進した。
- (2) 信用金庫業界とのタイアップを推進
- (3) 損害保険代理店業

新たにイーデザイン損害保険株式会社と代理店契約を締結。東京海上日動火災保険株式会社、三井住友海上火災保険会社と合わせて 3 社委託となる。リース利用者の特性に合わせて適切な自動車保険の提案を行っていく。

東京海上日動社と関係が深いロータスクラブ(宮城県支部)と車に関する支援の協定を締結することができ、実際に車両の寄付、自動車の整備で協力をしていただけた関係となったのは大きな収穫だった。今後も損害保険会社のネットワークを活かした社会貢献活動の促進を広げていきたい。

助成金	なし
補助金	佐賀市生活困窮者支援プラットフォーム

## ■モビリティ・レジリエンス事業

### 【目標 1】 500 台対応できる体制づくり

(アライアンス 250 台／災害時返却カーリースで 150 台／待機車両 50 台／災害時の新規寄付 50 台)

- ・達成指標 1) 災害時返却カーリースで 150 台確保
- ・達成指標 2) 災害時寄付募集の体制確立(何をどう発信するか決定している)
- ・達成指標 3) JPF カテゴリー2 ヘアアップ

#### 評価

- ・達成指標 1) 災害時返却カーリースで確保実績 48 台【達成率:32%】
- ・達成指標 2) 災害時寄付募集の体制は確立には至らなかったが方向性を持つことができた【未達成】
- ・達成指標 3) JPF カテゴリー2 ヘアアップは一部の条件が達成困難であることが判明し断念【未達成】

#### 実施内容

- ・災害返却カーリースのサービス見直しによる利用促進
- ・災害返却カーリースの PR 動画を制作し発信を行った。
- ・エーモン工業様寄付を JU 支部様との連携で車両調達 (合計 28 台) ※災害時以外にも 9 台
- ・静岡県内の行政書士有志との連携による普通車の活用
- ・新潟拠点で貸与による車両確保
- ・近隣の都道府県での車集め、記者会見実施

#### 総評

目標達成には至らなかったが、災害時返却カーリースが支援活動の車両確保において有効に働くことと現時点での対応能力が約 150 台であることを確認することができた。

#### 課題

今年度起こった災害の申込合計が 921 件(3 月福島沖 119 件、7 月豪雨 195 件、8 月豪雨 183 件、9 月台風 15 号 424 件)で実際に貸出できたのが 690 件だったので、その差が 231 件であった。(25%がキャンセル)この差を埋めるための対策(迅速に車を集める対策)が必要である。

## 【目標2】モビリティ・レジリエンス・アライアンスの拡大

- ・達成指標1) 30 団体／10 自治体体制（既存 8 団体／4自治体）
- ・達成指標2) モビリティ・レジリエンス・アライアンスで 250 台確保

### 評価

- ・達成指標1) 16 団体／8 自治体体制【達成:60%】
- ・達成指標2) モビリティ・レジリエンス・アライアンスで確保できる想定台数 90 台【達成:36%】

### 実施内容

- ・(一財)トヨタ・モビリティ基金との連携事業開始（アライアンス拡大・拠点設置）
- ・(一社)日本中古自動車販売協会連合会本部(JU 本部)との連携（支部へ協定打診）
- ・災害対応実績自治体と JU 各都道府県支部で連携する自治体へアプローチ

#### ▷ 災害時の連携協定締結

企業・団体	16 企業・団体（新規 9 団体） アドバンスクラブ・エーモン工業株式会社・株式会社オートバックスセブン・JU 宮城 JU 熊本・日本ミシュランタイヤ株式会社・ルート産業株式会社・JU 岩・JU 宮崎 JU 新潟・JU 静岡・JU 兵庫・JU 青森・JU 秋田・全日本ロータス同友会宮城県支部 株式会社ハンコックタイヤジャパン
自治体	8 自治体（新規 4 自治体） 石巻市・岡山県・熊本県・佐賀県・宮城県・岩手県・福島県・栃木市

### 総評

目標に対し少し不足したが、確実に連携先を広げることができた。

### 課題

車の調達に加えて運輸・登録・整備に関する連携体制が必要。

## 【目標3】3箇所、新規拠点設置

- ・達成指標1) 1 支部設立
- ・達成指標2) 2 貸出拠点整備

### 評価

- ・達成指標1) 実績0【未達成】
- ・達成指標2) 実績0【未達成】進捗率 1.4(栃木 0.7、岡山 0.5、その他 0.2)進捗状況でみた場合の達成率:70%)

※具体的に調整中の自治体:栃木市・岡山県・村上市・静岡市・都城市

### 実施内容

- ・連携自治体の募集について発信
- ・支援対応エリア及び協定締結自治体等で拠点設置の可能性について調整を実施  
調整を試みた自治体 : 栃木市・岡山県・村上市・豊田市・相馬市・人吉市・能美市・静岡市・都城市  
姫路市

### 総評

各地と調整を進めてきたが場所の確保に時間を要し、実現には至らなかった。しかし具体的な調整を進めている候補地はあるため、次年度以降で拠点設置につなげたい。

### 課題

拠点設置までに時間を要してしまうため、拠点設置のパターンを掴みスピード化と省力化を進めたい。

## 【その他にあった取り組み】

### (1)災害対応

災害	無償貸出期間	件数	実施地域	受益対象者の範囲
令和4年3月 福島県沖地震支援	3/27～7/31 活動期間: 3/20～7/31	短期貸出 107件 総数 107件	福島県相馬市、南相馬市	実施地域の被災住民及び支援団体
令和4年7月 豪雨支援	7/21～10/31 活動期間:7/16 ～10/31	長期貸出 92件 短期貸出 50件 総数 142件	宮城県古川市、石巻市、松島町	実施地域の被災住民及び支援団体
令和4年8月 豪雨支援	8/20～継続中 活動期間: 8/5～継続中	長期貸出 82件 短期貸出 43件 総数 125件	新潟県村上市・青森県鯉ヶ沢町・秋田県五城目町・山形県川西町)	実施地域の被災住民及び支援団体
令和4年9月 台風15号支援	10/11～継続中 活動期間 9/27～継続中	長期貸出 233件 短期貸出 53件 総数 286件	静岡県静岡市	実施地域の被災住民及び支援団体

- ・JVOAD 災害フォーラム・ぼうさいこくたい 2023 で車被災に関する分科会を開催
- ・日本財団と災害時の連携に関する協定締結
- ・動画で利用者の声の発信(福島・宮城・新潟・静岡での災害現場)

助成金	トヨタ・モビリティ基金／社会福祉法人中央共同募金会／公益財団法人日本財団／公益財団法人佐賀未来創造金
寄付	Yahoo!ネット募金／佐賀ふるさと納税／一般社団法人日本自動車連盟クラウドファンディングプロジェクト

## ■事務局

### 【目標1】支援者・スタッフが安心して参加できる環境を整える

- ・**成果指標**）グットガバナンス認証の取得、支援者・スタッフが協会に対して抱いている価値や不安を把握し、その対応に着手できている

#### 評価

グットガバナンス認証の取得には至らなかったが評価手続きの過程で法人運営事務の修正点を把握し、改善に着手できた。労務面では勤怠管理のシステムを変更し、勤怠管理から給与計算、年末調整まで一元化。【達成率:40%】

#### 実施内容

- ・3月の報告書と一緒に支援者アンケートを実施。
- ・(一財)非営利組織評価センターとグットガバナンス認証取得に向けて調整を実施。前段階のアドバンス



評価(自己評価)において、定款記載事項と実務での乖離項目があり、今期の認証取得を断念。本総会において定款変更を実施する。

- ・多様な働き方に対応するため、人事制度の見直しを実施。2023年1月～運用開始。
  - ・月次の経営会議で社内向け研修やワークショップを実施。
    - ▶ 設立の思いを代表に聞いてみよう、先輩スタッフへのインタビュー、相互理解を深めるワーク、合意形成ワーク、同僚から見たわたしの得意・強み、写真の撮り方講座
  - ・会計面では助成金の予実管理と入金管理の仕組みを改善した。
  - ・事業部毎にリーダーとスタッフの月次面談、年2回の人事考課を実施
- ※コミュニティ・キャピタル診断は2023年1月に実施。

#### 総 評

アンケートにより支援者が協会に抱いている印象を実際の声として把握することができた。しかし、仕組みへの落とし込みができなかったので次年度支援者コミュニケーションの仕組みを構築する。また、内部でのコミュニティ・キャピタル診断により組織状態の把握をし、より良い環境で仕事ができるように必要な施策を行う。

支援者が参加(寄付)しやすい環境を整えていくため、次年度NPO法人を設立し認定取得を目指す。

#### 課 題

アンケートの内容についての検討の機会とアクションプランの作成や計画づくりがあいまいに進んでしまった。次年度はプロジェクトチームを再編成して、支援者の方々とのコミュニケーション方法を確立していく。

### 【目標2】 事業推進と支援者とのより良いコミュニケーションを構築するための広報

#### ・ファンドレイジング計画の立案と実行

- ・達成指標) 支援者データベースの構築・運用し3月に設定する目標の達成、カーシェア・ピットクルーを再定義し、確実な運用と把握を行えている

#### 評 価

支援者データの整理とシステム設計に時間がかかり、完了することができなかった。だが、JAFとの共同クラウドファンディングでは目標額を122%上回る寄付が集まり、支援活動の輪と新しい支援者層の開拓につながった。【達成率:50%】

#### 実施内容

- ・支援者管理をキントーンで行うことに着手。完了には至っていないが進捗は7割。
- ・寄付窓口の運営 (ふるさと納税/Yahoo! ネット募金/ソフトバンクつながる募金/メルカリ寄付/amazonほしいものリスト/マンスリーサポーター他)
- ・READY FORにてモビリティ・レジリエンスを支援する継続寄付ページの新設。
- ・以下の寄付キャンペーンを実施

名称	期間	支援総額	目標金額
みやぎチャレンジプロジェクト	2021/12/1 ～2022/2/28	1,161,614 円	1,000,000 円
JAF×JCSA 共同クラウドファンディング	7/13～9/8	3,644,000 円	3,000,000 円
みやぎチャレンジプロジェクト	2022/12/1 ～2023/2/28	564,000 円 ※2/21 現在	1,000,000 円

- ・ふるさと納税の返礼品事業者に新たに(株)INDIGOが加わり、23品目が追加となった。

## 総 評

外部団体と共同でのクラウドファンディングを初めて実施。目標金額を達成することができた。とても良い成功体験とノウハウを得ることができた。ただしキャンペーン単体では目標金額を達成することができたが、支援者データを生かしたファンドレイジング計画の立案とアクションにはなかったのは反省すべき点である。

## 課 題

支援者データのシステム構築について、災害対応が夏以降続いてしまい、完了できなかった。

## 【その他にあった取組み】

- ・今年度から JPF カテゴリーアップ要件として、会計士による会計監査を四半期ごとに受ける予定だったが、現状のカテゴリーのまま取り組むことに方針変更したため不要となった。
- ・労務管理ソフトをジョブカンへ変更。5月から運用を開始した。
- ・法人の目的を達成するために法人形態や組織名称について1年間伴奏支援を受けながら検討を進めた。次年度、NPO 法人を設立する。

## 【車両管理 実施内容】

- ・車両管理の仕組みをこれまでのエクセルからキントーンへ移行。1月より実施。
- ・車両寄付件数 : 128台(前年度比 191%) / 12月末時点での活用台数 300台
- ・車両リサイクル寄付件数 : 15台 (前年度比 48%)
- ・自動車保険 カーシェアフリート 70%→70%(上限値) / レンタカーフリート 33%→37%  
※2022年2月よりレンタカーフリートは三井住友海上火災保険へ変更
- ・車両維持費 : 10,645,214円(前年度比 140%)
- ・学生整備プロジェクト(石巻専修大学共同プロジェクト)

	実施日	学生数	参加車両台数
春の学生整備プロジェクト	4/20~22	17名	70台
秋の学生整備プロジェクト	11/16~18	17名	59台

協賛企業 日本ミシュランタイヤ株式会社、横浜ゴム株式会社、PIAA 株式会社、  
ルート産業株式会社、三共油化工業株式会社、  
パナソニックカーエレクトロニクス株式会社

助 成 金	東日本大震災現地 NPO 応援基金
-------	-------------------

**【その他 講演会・講師など】**

1/27	岩泉町地域振興協議会研修 講師	1/28	丸森町大張地区研修会 講師
2/19	生活困窮者自立支援の先進事例共有会 登壇	4/10	宮古市田代地区研修会 講師
5/13	JVOAD フォーラム 分科会 登壇	5/13	日本ミシュランタイヤ アドバンスユーザー ミーティング懇親会 登壇
5/18	新潟県内市町村向け研修 登壇	7/26	仕組みづくりからはじまるサーキュラーエ コノミー 登壇
8/25	みやぎ生協イベント 登壇	9/2	地域モビリティの再構築 イベント登壇
9/8	アクセンチュア社内イベント登壇	9/8	池月地区研修 講師
9/27	採銅所地域研修 講師	10/22	ぼうさいこくたい 分科会 登壇
11/25	岡山市 ゼロカーボン研究会 登壇	11/26	播磨100人会議 登壇
11/30	つなぎ手調査プロジェクト 登壇		

**【受賞】**

- ・第1回クルマ・社会・パートナーシップ大賞 自動車ユーザー連携賞
- ・第15回いしのまき大賞
- ・CSフォーラム 2022 ファイナリスト賞

正会員	6名	準会員	13名	賛助会員	30名
-----	----	-----	-----	------	-----

以上